環境コミュニケーションを通じて持続可能な未来へつなぐ

環境経営レポート

【2022年度版】

対象期間：2022年4月～2023年3月

発行日：2023年　6月10日

いわき市再生資源協業組合

エコアクション21
認証番号 0012418

目次

1．SDGs の取り組み …… 1・2

2．組合概要・事業規模 …… 3・4

3．環境経営レポートの対象期間及び発行日…… 4・5

4．いわき市のごみ処理体制における当社の業務…… 6

5．環境経営方針 …… 7

6．環境経営目標 …… 8

(1).環境経営目標(中長期目標) …… 8

(2)環境経営目標 …… 8

7．環境活動報告 ……9・10・11・12・13

8．環境経営目標の実績と評価 …… 14

9．環境経営計画の取組結果とその評価 …… 15

10．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無…… 16

11．代表者による全体評価と見直しの結果 …… 17

11-1．環境経営システムの有効性の評価 …… 17

11-2．環境経営システム変更の必要性 …… 17

11-3．次年度以降の取組の方向性 …… 17

12．2022 年度　環境経営目標 …… 18

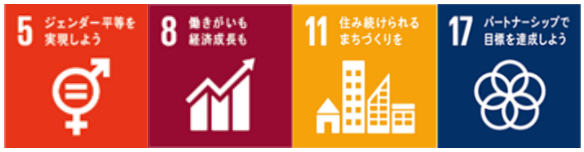
人工シーグラスのランプシェード
クリンピーの家リサイクル教室実施中！

今、私たちにできること

1．ＳＤＧｓの取り組み

持続可能な開発目標（SDGs）への取り組みは2019年８月より社内でスタートしました。
持続可能な世界を実現するための17の目標達成に向かい「地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）」を目指します。当組合も世界中の人々が幸せに豊かに暮らす社会の実現を目指し、SDGsの目標達成に向けて貢献してまいります。

ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて



働く個々人がやりがいをもって働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭生活においても介護や育児などの時間や自己啓発のための勉強の時間を持ち、豊かな社会生活を送ることが可能な労働環境を目指します。当組合における社内活動の一つ「元気な職場造りプロジェクト」は、社員一人ひとりの心の声を言葉に表し共有する活動です。こういったコミュニケーションを重視した活動は良質な職場環境を造り、仲間の心の豊かさに気づくきっかけとなります。また、あらゆる分野において女性がその個性を十分に発揮することは地域社会を活性化させる大きな力となると考えられることから、女性管理者の登用・育成及び職場における女性活躍や男女共同参画に積極的に取り組み、男女がともに働きやすい職場環境の整備を図るなどの取組を行っており、当組合は「いわき市女性活躍推進企業」として活動しています。

エコアクション２１の認証を取得

エコアクション２１の認証を取得しています。取組結果は「環境活動レポート」として取りまとめて公表しています。エコアクション２１ガイドラインにもとづいて取組を行うことで、環境への取り組みを総合的に進めております。

リサイクル教室の開催

一般市民を対象に、不要になった布、毛糸等を使用した「つまみ細工教室」「ニードルフェルト教室」のリサイクル教室を開催しています。伝統工芸とリサイクルを組み合わせて楽しく伝えることを目的としています。また、廃ガラスを利用した「人工シーグラス」を選別作業員の中から生まれたアイディアをもとに社内独自の製造方法で考案しました。2020年以降のリサイクル教室で情報発信しています。

多様な人材が個々の能力を最大限に発揮できる組合を目指して

組合は社員こそが企業の財産、すなわち「人財」であると考え、社員の成長を積極的にサポートするため、キャリアに応じて充実した教育研修を実施しています。社員の成長を第一に考え、体系的な教育研修を実施することで、「高度な知識・技能、責任感と気概を有し、かつ時代の変化に的確に対応できる柔軟性、創造性のある社員」の育成を目指しています。

専門者による講習会や研修会を通じた人材育成

各分野の専門家を外部講師として招き、毎年講習会を開催しています。社員全員に学ぶ機会が与えられ、業務意識の向上を図る取り組みです。また、自己のスキルアップに向けて、自主的に取得したい資格を申請することで、会社が費用を負担する制度「スキルアップアンケート」を毎年４月に実施しています。

いわき市不法投棄監視サポーターとして活動

後を絶たない廃棄物の不法投棄をなくすため、また、地域環境の保全と不法投棄の未然防止をさらに強化していくために、『いわき市不法投棄監視サポーター』に登録し、活動を展開しています。

「日本製紙ピンクリボン PPC」への協賛

ピンクリボン PPC は乳がん検診の啓発活動「ピンクリボン運動」を支援する PPC 用紙です。当組合はこの活動に協賛して PPC 用紙を全部門で採用しています。

健康事業所宣言

社員同士がコミュニケーションを密に図り、健康に配慮する文化を創造していくことによって組織の健康と生産性を維持しています。2019 年８月、全国健康保険協会の「健康事業所」として宣言し、社員は毎日の血圧、体温などの健康チェックを記録して管理しています。

食品ロス削減　フードバンクへの協力

社員休憩所に「フードボックス」を設置し、市内でフードバンク事業を展開するNPO 法人へ提供しています。また、いわき市が推奨する「食品ロス削減」の啓発として社内イベントの時などに呼びかけをして１人ひとりの意識向上を目指しています。

これから、私たちにできること

高齢化社会へ向けた取り組み

高齢化に伴う家庭のごみ出し困難者への支援事業の展開を目指しています。ごみの分別が難しい、山間部世帯数が少ない地域のごみ集積所までの距離が遠くてごみ出しが困難、そういった高齢者を訪問してアドバイスをしながらコミュニケーションをとることで、安心して生活できるお手伝いをして行きたいと考えています。

2. 組合概要

（1）事業所名　　いわき市再生資源協業組合

（2）代表者名　　代表理事　花見　俊行

（3）所在地と施設の種類

■組合事務所

〒971-8101　福島県いわき市小名浜字林ノ上１９番地の９８　内山ビル1F－B

■クリンピーの家　資源選別施設（いわき市が所有する中間処理施設）

〒972－8337　福島県いわき市渡辺町中釜戸字大石沢２４－１

■山田粗大ごみ処理施設（いわき市が所有する中間処理施設）

〒974－8241　福島県いわき市山田町家ノ前３１

（4）設立年月

1984年3月　いわき市再生資源協同組合　設立

2006年3月　いわき市再生資源協業組合へ組織変更

（5）出資金　　1,020万円（2023年3月31日現在）

（6）環境管理責任者　　総括責任者　長谷部　亘

（7）連絡担当者名　　事務局長　西山　奈津江

連絡先　TEL：０２４６－８８－１４５０　FAX：０２４６－８８－１４５１

E-mail　ｓｓｋ@ａｔｌａｓ.ｐｌａｌａ.ｏｒ.ｊｐ

（8）事業内容

いわき市受託業務における一般廃棄物選別事業

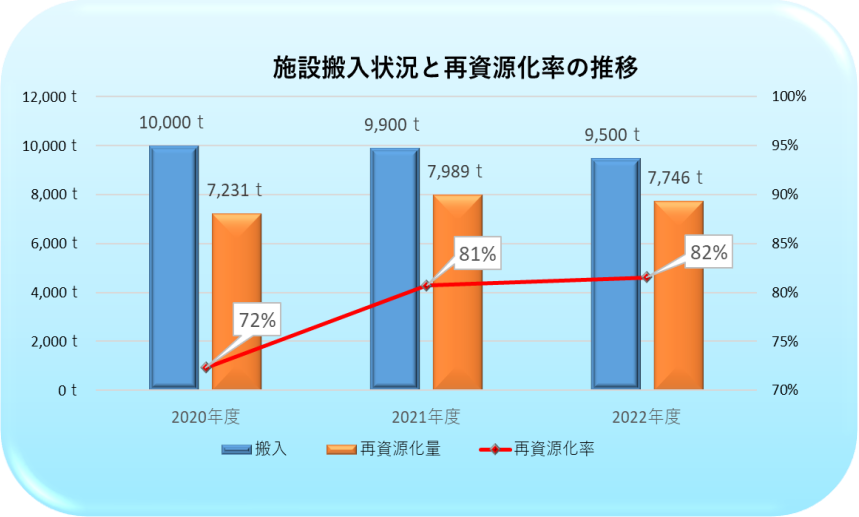
（9）事業規模（サイト別）

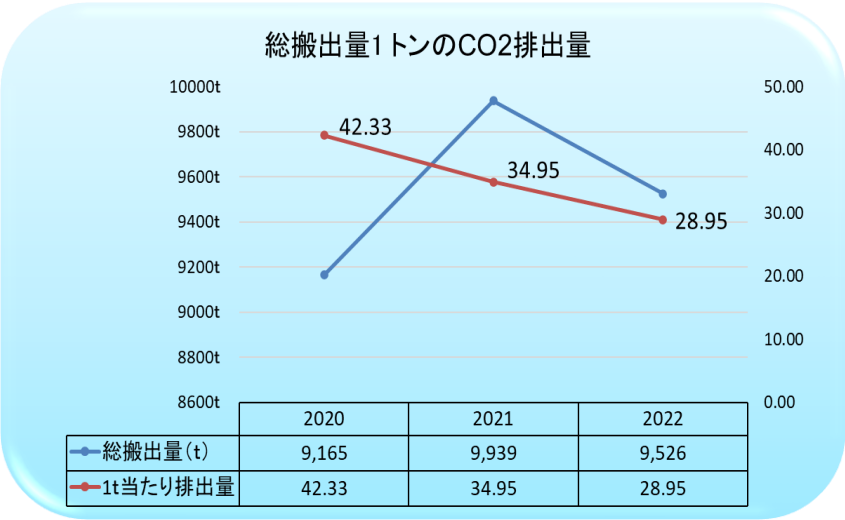
事業規模単位			令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設搬入量		t	10,000	9,900	9,500
選別処理量		t	8,700	9,400	9,500
再生資源化量		t	7,600	8,800	9,000
従業員数		人	45	45	47
サイト① 組合事務所	延床面積	鉄骨 ㎡	61	61	61
サイト② クリンピーの家 資源選別施設	延床面積	鉄骨2階 ㎡	4,403	4,403	4,403
	選別処理能力	t/日（5h）	40	改修後　48	48
サイト③ 山田粗大ごみ処理施設	建築面積	㎡	破砕施設 火災により閉鎖	作業場・事務所 824.7	作業場・事務所 824.7
	処理量	t/日（5h）	破砕処理機 10.0	6.2 （11.5人）	6.9 （12.0人）

クリンピーの家資源選別施設並びに山田粗大ごみ処理施設の2サイトにおける施設の搬入量の推移と、再資源化率の推移は右記の通りです。

2020 年度に一時増加した搬入量は、2021 年度以降は緩やかに減少しており、増加前の状況に戻りつつあります。

選別作業においては、安全活動とエコアクション21の活動を併行しながら工夫と改善を図り、再資源化率向上を目指しています。

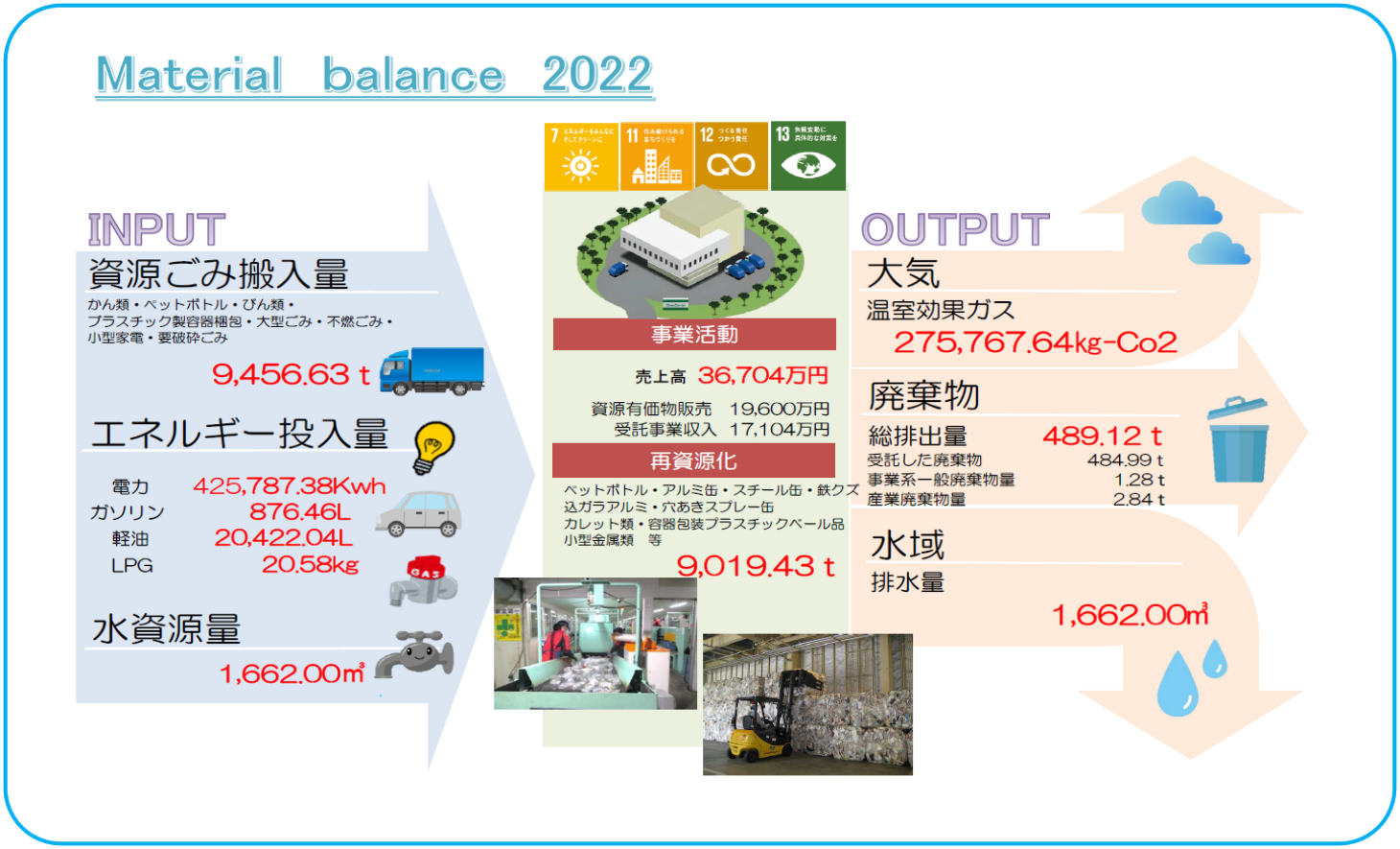




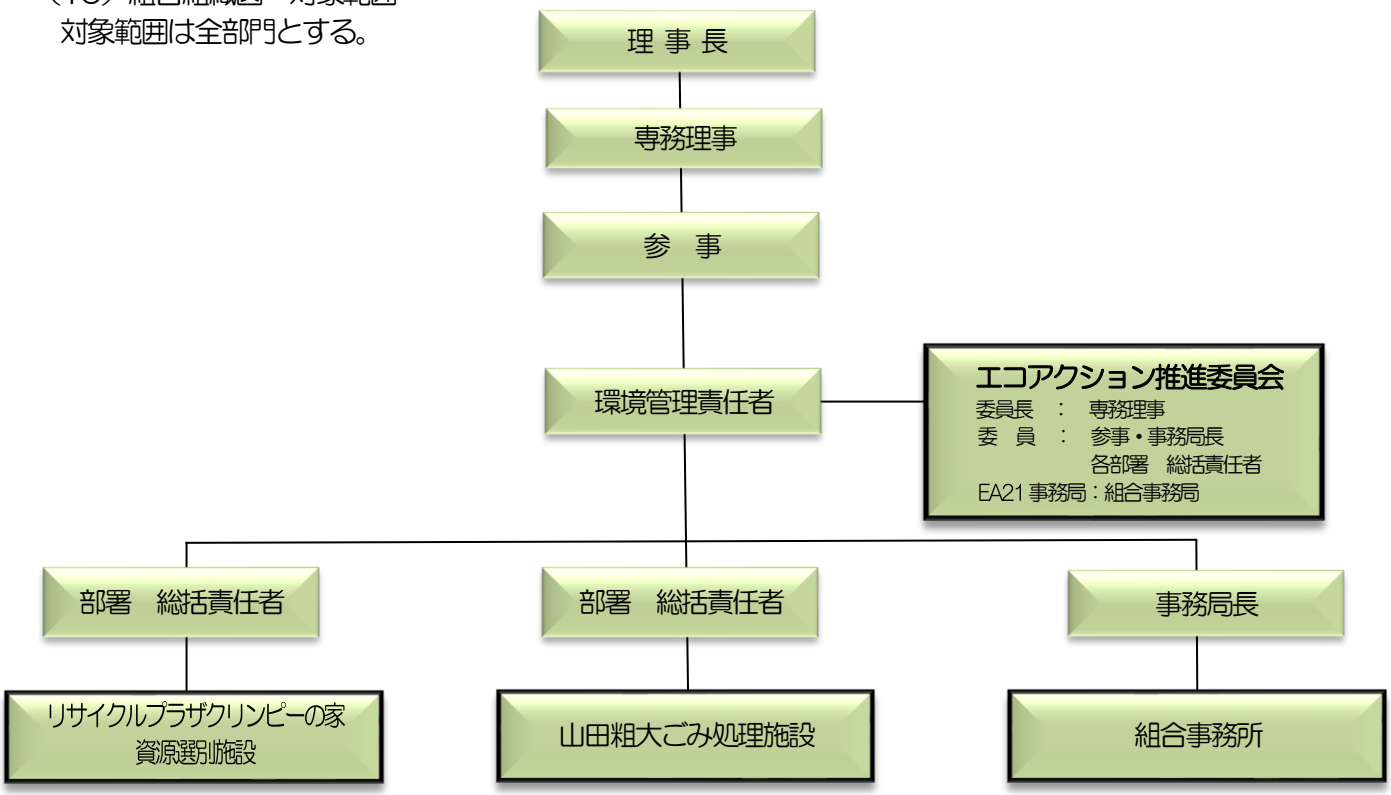
	2020	2021	2022
総搬出量(t)	9,165	9,939	9,526
1t当たり排出量	42.33	34.95	28.95

クリンピーの家資源選別施設並びに山田粗大ごみ処理施設の2サイトにおける施設の総排出量(トン)を経済活動基準とした場合、2022 年度の搬出1トンの CO2 排出量(kg-CO2)は、28.95kg-CO2 となります。

参考:28.95kg-CO2 は、電気自動車で東京～大阪(約 500km)を走行した場合の CO2 排出量に近い数値です。



（10）組合組織図・対象範囲
対象範囲は全部門とする。



（11）許可・資格者等

2021 年９月６日	一般廃棄物収集運搬業許可　いわき市　第 19018 号 （有効期限）2023 年 8 月 31 日
2022 年３月現在	✧　破砕リサイクル施設技術管理士　２名 ✧　クレーン運転業務特別教育修了者　15 名 ✧　フォークリフト運転技能講習修了者　13 名 ✧　ショベルローダー運転技能講習修了者　12 名 ✧　特別化学物質及四アルキル鉛等作業主任技能講習修了者　５名 ✧　いわきエリア KYT トレーナー　14 名

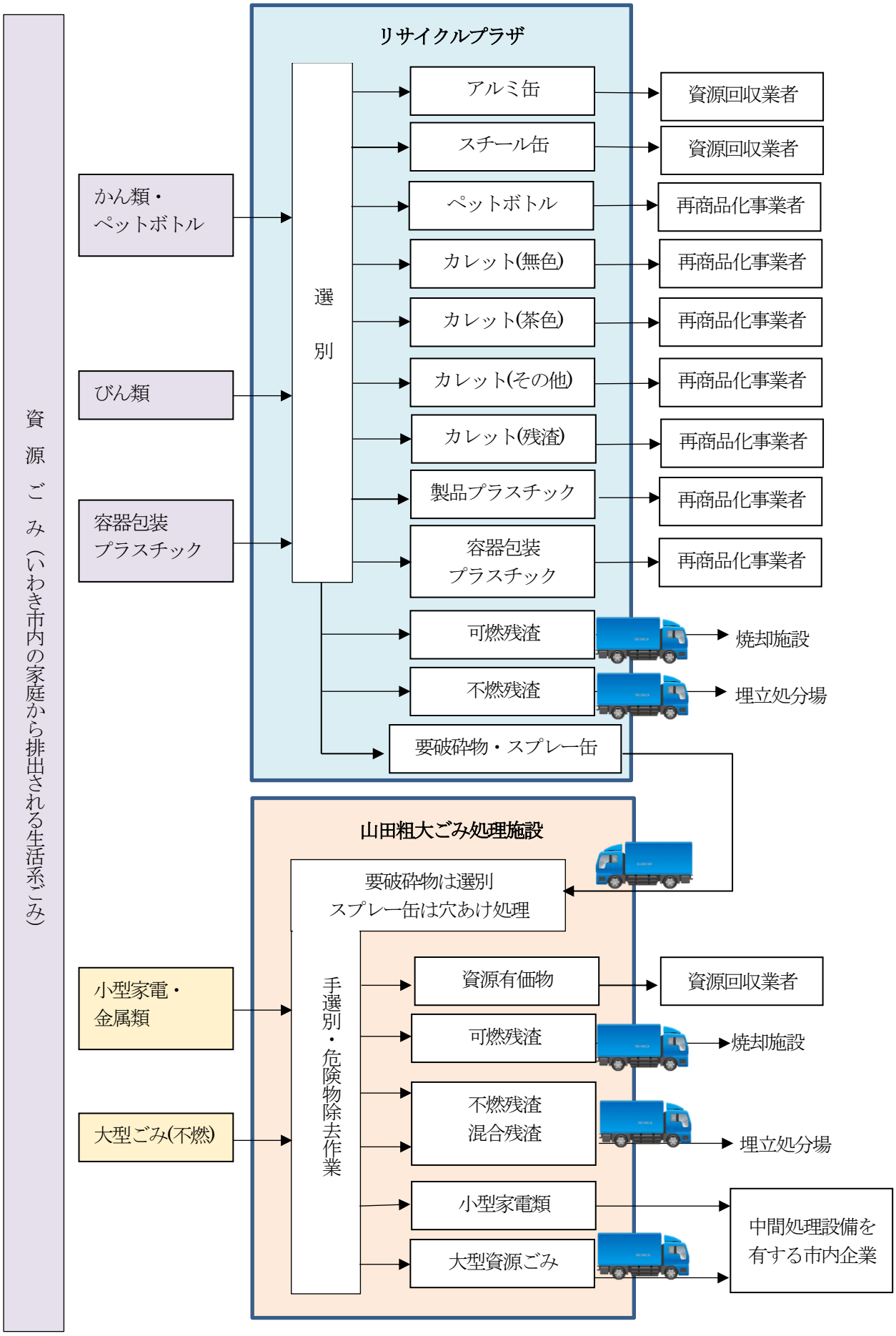
（12）組織認証

2016 年 10 月	官公需適格組合 東北経済産業局　東北第 23 号	
2018 年７月	エコアクション 21 環境省　　認証・登録番号　0012418	
2019 年２月	いわき市女性活躍推進企業 いわき市　認証番号　第 28 号	

3. 環境経営レポートの対象期間　：2022 年４月～2023 年３月

環境経営レポートは、当組合会計年度（４月～３月）に合わせ、毎年６月に発行します。
環境経営レポート発行日　：2023 年６月 10 日

4. いわき市ごみ処理体制における当社の業務



5. 環境経営方針

＜基本理念＞

いわき市再生資源協業組合は、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、循環型社会を構築していくためには、有限である資源の有効利用が人類共通の重要課題と考えています。
リサイクル業界の活動における環境負荷の低減を通して社会に貢献するため、全社共通の認識を持って自主的･積極的に、環境への取組を推進してまいります。

＜行動指針＞

1. 具体的に次のことに取り組みます。
   ①電力･自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取組みます。
   ②廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)の推進に取組みます。
   ③水資源の有効利用を図り、節水に努めます。
   ④原材料及び事務用品のグリーン購入を推進します。
   ⑤環境に配慮した事業活動を展開し、再資源化率の向上に努めます。
   ⑥地域の清掃活動を推進します。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

＜いわき市再生資源協業組合と SDGs＞

SDGs(Sustainable Development Goals･持続可能な開発目標)は、あらゆる国と地域のあらゆる人を対象に、持続可能な世界を実現するための 17 のゴール･169 のターゲットから構成されています。
私たちはリサイクル事業活動とその啓発活動を通じて有限である資源を持続的に利用していくための循環型社会の構築へ貢献することを考えて行きます。
いわき市再生資源協業組合は、基本理念、行動指針を基本に SDGs の内容を踏まえ、下記の取り組みを推進します。

制定日：2017 年 11 月 16 日
改訂日：2020 年 10 月 27 日
（署名）代表理事　花見 俊行

6. 環境経営目標　3サイト合計

(1)環境経営目標(中長期目標)

2022年4月から、以下の目標を掲げてエコアクション21に取り組んでいきます。
基準年度を2021年度統一としました。

環境目標項目		基準年 2021年度実績	削減率等	中長期目標（3年） 2022年度目標 (2022.4~2023.3)	2023年度目標 (2023.4~2024.3)	2024年度目標 (2024.4~2025.3)
二酸化炭素排出量 (kg-CO_2)		347,339.73	1.0%	343,866.34	340,392.94	336,919.54
廃棄物排出量(kg)	一般廃棄物	1,360.66	1.0%	1,347.05	1,333.44	1,319.84
	中間処理後の廃棄物	601,850.00	1.0%	595,831.50	589,813.00	583,794.50
水使用量(m^3)		2,516.00	1.0%	2,490.84	2,465.68	2,440.52
グリーン購入(件)		162	サイト毎1件増	165	168	171
事業活動における環境配慮(%) ※資源化率	山田粗大ごみ処理施設	67.74%	0.1%向上	67.81%	67.87%	67.94%
	クリンピーの家資源選別施設	95.53%		95.62%	95.72%	95.81%

(2)環境経営目標の設定(2022年度)

環境目標項目		削減率等	基準年 サイト毎の合計 排出量の実績	取組期間 (2022.4~2023.3) 目標値
二酸化炭素排出量(kg-CO_2)		1.0%	347,339.73	343,866.34
（1）電力からの排出量(kg-CO_2)		1.0%	292,537.99	289,612.61
（2）ガソリンの排出量(kg-CO_2)		1.0%	2,009.33	1,989.24
（3）軽油の排出量(kg-CO_2)		1.0%	52,741.24	52,213.82
（4）LPGの排出量(kg-CO_2		1.0%	51.18	50.67
廃棄物排出量	一般廃棄物（kg)	1.0%	1,360.66	1.347.05
	中間処理後の廃棄物（kg) (不燃残渣・可燃残渣)	1.0%	601,850.00	595,831.50
水使用量(m^3)		1.0%	2,516.00	2,490.84
グリーン購入の推進(件)		サイト毎1件増	162	165
事業活動における環境配慮(%)		向上0.1%	（山田粗大）67.74% （クリンピーの家）95.53%	（山田粗大）67.81% （クリンピーの家）95.62%

化学物質の使用はありません。　二酸化炭素排出係数：0.519 CO_2 - kg/kWh

7. 環境活動報告

節電を心がけよう

照明の使用は最小限に、こまめな消灯を心掛けています。退勤時は消し忘れ防止のため、確認者は指差し呼称「戸締り、消灯ヨシ！」を徹底しています。また、組合事務所の照明をLEDに切り替え、点灯箇所も使う場所ごとに分けた事で無駄な電力の消費を抑え、節電へと繋がっています。

節水を心がけよう

水道を使用する際は勢いよく出さない事、流水のままにしないよう気をつけています。
「余分な水は使わない」事を徹底しています。
また組合事務所のトイレに「トイレ用擬音装置」を設置し節水に取り組んでいます。

公共施設を大切に

リサイクルプラザクリンピーの家は、市民が利用する公共施設です。毎年６月の「いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動」に合わせて、クリンピーの家の花壇に花を植え大切に育てています。

2022.6.25

SDGs を可視化・情報共有

SDGsの17の目標から自分に出来る事を設定しロッカーにマークを貼り付けています。目に見える形で張り出したことで具体的な目標を持ってSDGsを強く意識しながら、日々の業務に取り組んでいます。
また２ヵ月に１回、社内報である「事務局だより」を発行しています。『Let's　SDGs』と題して従業員にもっとSDGsについての理解を深めてもらうために17の目標を１つずつ丁寧に分かりやすく説明しています。

つまみ細工教室

家庭で不要になった古布類を使って「つまみ細工」を作成する教室を実施しました。
参加される方に楽しい時間を過ごしていただきたいと考え、準備から力を入れています。

2022.6.10

ニードルフェルト教室

家庭で不要になった毛糸やセーターなどを使った「ニードルフェルト」教室を実施しました。
毛糸をブラシでほぐす体験を取り入れ、家庭でも簡単にリサイクルしながら手芸を楽しめる提案をする事が出来ました。

2022.11.24

いわき市廃棄物減量推進審議会委員活動

いわき市は、本市の実情にあった一般廃棄物の減量や３Ｒの推進などに関する事項を審議するため「いわき市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」で定めるところにより、平成５年９月に設置しました。当職員１名が委員として委嘱され活動しています。今年度はクリンピーの家の見学を行いました。

2022.11.17

次の世代へリサイクル啓発 リサイクルフェアへの参加

毎年１０月に行われるリサイクルフェア。今回は 400 名を超える方に来場いただきました。当組合では、子ども達が自由に参加できる「子ども安全パトロール」を実施しています。毎回参加予定人数を上回る程の人気企画です。これからも沢山の方にリサイクル啓発が出来るよう力を入れて準備に努めていきます。

2022.10.9

人工シーグラス教室

当組合で製造している「人工シーグラス」を使ってランプシェードを作成する教室を実施しました。綺麗な人工シーグラスが市民から回収され埋立てされてしまうはずだったびん類だと知り驚いた方も多いようでした。

2022.8.24

自作展示物でリサイクル啓発

ペットボルトキャップで作成した「安全第一」と空きペットボトルを使った「ペットボトルツリー」は従業員全員で作成しました。
来所される市民の方がリサイクルなどに興味を持っていただくきっかけ作りに貢献しています。

いわき市女性活躍推進企業

当組合では女性管理者の登用・育成及び職場における女性活躍や男女共同参画に積極的に取り組み、男女がともに働きやすい職場環境の整備を図るなどの取組を行っています。
今年度は
- 「働く女性のための応援セミナー」　１名
- 「イクボス養成講座」　１名
- 「キラっ人さん育成塾」　３名

積極的に講演・講習会に参加しています。

精神・発達障害者しごとサポーター

厚生労働省主催の「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」へ参加しました。この講座では基本的な事や関わり方など学びます。
今年度は、サブリーダーを中心に４名が受講しました。「障害があってもなくても一人の同僚」という言葉を胸に精神・発達障害者しごとサポーターとして意識しながら働いています。

労働安全衛生活動の推進活動

毎月実施する社内安全パトロールは職場の状況を安全推進委員会の立場から客観的に確認することで、安全状況をより高いレベルにしていき、潜在的な危険リスクを把握する効果があります。毎年 10 月 27 日は社内安全の日として職場の安全衛生向上を推進するためのイベント「安全大会」を開催しています。ヒヤリハットの積極的な提出を推進しています。

2022.10.29

不法投棄監視サポーター活動 環境美化活動(ボランティア)

いわき市不法投棄監視サポーターとして登録し、若手職員を中心に市内の不法投棄防止啓発活動に参加しています。環境美化活動は毎月第一金曜日に実施しています。どちらも敷地内外と地区のゴミ集積場の掃除やゴミ拾い、除草作業など精力的に活動しています。

市民の皆さんとの大切な交流の場でもありますので、従業員全員が大切にしている時間です。

元気な職場作りプロジェクト

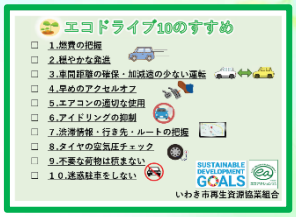
当組合では、「元気な職場プロジェクト」のミーティング、ポスター作成を毎月行っています。

震災後から行っており、従業員同士が声を掛け合い自分たちの言葉でポスターを作り「ここから元気を発信しよう」と提案されました。ポジティブな言葉を声に出し、意識することで職場の雰囲気も明るくなっています。

エコドライブ 10 のすすめ

エコドライブとは自動車から排出される二酸化炭素の量を極力抑える運転の仕方のことを言います。またエコドライブを実行して運転することで交通事故の予防に繋がるともいわれています。

当組合では、「エコドライブ 10 のすすめ」をイラストを使い分かりやすくまとめたものを車両に乗せ、意識しながら運転を行っています。



グリーン購入の推奨

当組合では、製品やサービスの購入をする時に必要かどうかをよく考えて、値段や品質、利便性、デザインだけでなく環境のことを考え、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先して購入しています。文房具やトイレットペーパーなどはグリーン購入を推奨しています。

フードバンクへの食物提供

フードバンクとは、家庭で眠ってしまっている食品を生活困窮者や児童・障がい者施設などに無償で提供する活動やそれを行う団体のことをいいます。

当組合では回収ボックスを設置し従業員から食品を集め二か月に一度の頻度で、「特定非営利活動法人ザ・ピープル」さんへ提供しています。

ピンクリボンのコピー用紙購入

当組合では、コピー用紙は「ピンクリボン運動」の啓発を支援する目的で販売しているものを使用しています。
「ピンクリボン運動」とは、乳がんの正しい知識や乳がん早期検診の促進などを目的として行われている世界規模の啓発キャンペーンです。

メンティ懇談会

当組合では新入社員に対して、メンター制度を導入しています。２か月に１度、メンティが集まり情報交換や交流を深め、気持ちをひとつにするために懇談会を行っています。
部署が違い、会って話す機会が少ないため、この貴重な時間をひとりひとりが大切にしています。

キラっ人★ふくしまへ掲載

～キラっ人さん紹介＆キラっ人さん応援企業紹介～

『キラっ人さん』とはやりがいや充実感をもって働いていたり、家庭や地域でも「自分らしさ」を活かしている人の事をいいます。
福島県が運営しているサイトである「キラっ人★ふくしま」の取材を受け、当組合の『キラっ人さん』が掲載中です。
また、キラっ人さんを応援する企業としても掲載されており、「明るく元気な女性が支えるリサイクルでSDGs 実現へ」と題し、当組合の女性活躍の現状や元気な職場造りプロジェクトなどをメインに掲載されています。

いわき市へ寄附金採納

毎年、「いわき市再生資源協業組合」と「青年部」から寄付金をいわき市へ採納しています。
青年部はリサイクルフェアで飲み物を販売し、その売上金を全額寄附しています。寄附金の使途としては「いわき市社会福祉復興基金」とし、平成８年から継続して寄附を行っています。

2023.3.14

いわき市就活応援サイト　～みつけて GOOD JOB!～

いわき市が運営しているサイト「就活応援サイト」新規高卒者向けの企業 PR 動画や求人情報を掲載した「みつけて GOOD JOB!」。
現在公開中であるこの動画はいわき市の公式動画「i Tube」に投稿されており、いわき市内に住んでいる方だけでなく沢山の方に見ていただいています。

スポGOMIへの参加

「ゴミ拾いはスポーツだ！」を合言葉に、チーム対抗の競技としてごみ拾いを楽しむ、スポGOMI。
今回は従業員７名と家族１名で参加しました。
ごみ拾いという社会問題解決のための行動に「スポーツ」というエッセンスを加えることで、楽しさやわくわく感、いい成績を収める喜びや、負ける悔しさなどを感じつつ、ごみを通じて環境問題に対する「気づき」を得るきっかけを作る活動でもあります。

私たちもスポGOMIに参加したことで環境問題に関する沢山の気づきに出会う事ができました。
この気づきを生かせるよう今後も積極的に参加していきたいと思います。

2022.9.23

家庭教育応援企業認定

家庭教育応援企業とは、家庭教育の充実に向けた職場づくりと地域の家庭教育を推進する企業の事を言います。
当組合も家庭教育応援企業へ認定されており、職場への見学や「スポGOMI」への家族の参加呼びかけなど積極的に行っています。

福島県
家庭教育応援企業認証書

いわき市再生資源協業組合 様

貴企業を家庭教育の充実に向けた職場環境づくりと地域の家庭教育を推進する家庭教育応援企業であることを認めます

福島県教育委員会

健康事業所宣言

健康事業所宣言とは、従業員の予防・健康づくりに取り組む事を事業所自らが宣言するものです。
当組合も宣言しており、毎年１～２月に健康診断の実施と結果を集計したものの周知、毎朝の血圧測定、毎月１日に健康チェックアンケートのラインワークス配信など精力的に活動しています。

宣言書

社員の皆様が心身ともに元気に働ける会社を目指して、健康づくりメニューへの取組みを宣言いたします

いわき市再生資源協業組合
代表理事　花見　俊行

上記の事業所が、「健康事業所宣言」をしたことを証明します

8. 環境経営目標の実績と評価　(2022年4月～2023年3月) 3サイト合計

環境目標項目		削減率等	2022年度 目標	2022年度 実績	達成率 (%)	評価	評価
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)		1.0%	343,866.34	275,767.64	124.7	◎	当組合から排出される全体の二酸化炭素排出量の約80%が購入電力によるものであり、大きな割合を占めています。また、全体の二酸化炭素排出量をサイト別にみると約97%はクリンピーの家資源選別施設の電力によるものです。同施設の取り組みが企業としての取り組みへ直結していることになります。また、今年度は本部事務所内全部とクリンピーの家資源選別施設内の一部をLED照明へ切り替えました。
	電力	1.0%	289,612.61	220,983.65	131.1	◎	
	ガソリン	1.0%	1,989.24	2,033.39	97.8	○	社用車の部署間移動が影響しています。3サイトともエコドライブ10項目に努める工夫は実行中ですので、これからその成果が生まれることを期待します。
	軽油	1.0%	52,213.82	52,688.86	99.1	○	運搬車両の燃料に加え、山田粗大ごみ処理施設の一部機械化に伴う消費量が大きく影響しています。
	LPG	1.0%	50.67	61.74	82.1	○	湯沸器の使用量は、サイトによっては増員などの影響が考えられます。
廃棄物排出量 (t)	一般廃棄物	1.0%	1,347.05t	1,280.48t	105.2	◎	社内ではマイボトル、マイバック、マイ箸の利用を推進しており、社員1人1人が高い意識で努めている姿勢がみえます。
	中間処理後の廃棄物	1.0%	595.831.50t	485,000.00t	122.9	◎	クリンピーの家資源選別施設における改修工事中の未処理物が前年度中に処理完了できた為、通常の選別レベルで処理ができました。
総排水量 (m^3)		1.0%	2,490.84 m^3	1,662.00 m^3	149.9	◎	行政の施設全体の把握しかできないため、活動の成果が明確ではない状況ですが、節水への取り組みを継続します。
グリーン購入 (件)		サイト毎1件増	165件	109件	66.1	△	物品を購入する時にグリーン購入指定のアイテムを優先的に選択するよう意識していますが、件数による取り組みは成果が把握しにくいので次年度は購入率を目標にします。
事業活動における環境配慮 再資源化率	山田粗大ごみ処理施設	0.1%向上	67.81%	74.1%	109.2	◎	山田粗大ごみ処理施設は危険物除去作業を中心に実施することで、再生資源化が可能な処理に努め、焼却又は埋立量削減に取り組みました。また、スプレー缶処理機を導入したことで効率面、安全面の向上を図っています。
	クリンピーの家資源選別施設	0.1%向上	95.62%	96.2%	100.6	◎	

化学物質の使用はありません。

二酸化炭素排出係数：0.519CO_2 - kg/kWh（東北電力株式会社2017年度実績値）にて統一とします。

評価基準		
	達成率100%以上	◎
	達成率80%以上から100%未満	○
	達成率60%以上から80%未満	△
	達成率60%未満	×

9．環境経営活動計画の実績と評価　(2022 年４月～2023 年３月)　３サイト合計

環境目標	項目	活動の具体的内容	実施結果の評価	
			評価	コメント
二酸化炭素排出量の削減	電力使用の削減	不要照明の消灯	◎	今年度は、本部事務所をLED 照明へ切り替えたことで具体的な活動目標が一つ達成できました。LED 導入後も日常的にムダな電力は使わないよう努めています。業務用エアコン室外機の簡易点検は定期的に実施していますが、冷暖房機器の清掃まで行き届かないので、現状把握を行ったうえで対策を検討する必要があります。
		本部：照明器具の改善（不要な蛍光灯を外す・LED 切り替え）	○	
		OA 機器・家電製品の待機電力の削減	○	
		冷暖房の温度管理（冬 20℃、夏 28℃）	○	
		冷暖房機器清掃	×	
		本部：業務用エアコン室外機の簡易点検実施	◎	
		各種設備の効率的な運転（作業手順の見直し）	◎	
		クールビズ、ウォームビズの実践	○	
	エコ運転の実施	ふんわりアクセル　ｅスタート	◎	エコ運転の実施については、具体的な対策として「エコドライブ 10 項目」を示したことで、ドライバーが意識して行動できる体制ができています。運搬業務に使用する４ｔダンプ２台のタイヤの空気圧チェックについては、担当者を明確にすることで、始業前点検時に実施しています。
		減速の時は早めにエンジンブレーキ	◎	
		暖房使用の時はエアコンスイッチ OFF。 冷房使用は外気と同じ設定温度に。	○	
		車間のゆとりと、加速・減速注意	◎	
		ムダなアイドリングをしない	◎	
		タイヤの空気圧チェック	○	
		燃費管理の実践	○	
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	分別の徹底	◎	マイボトル利用は社内に定着しています。廃棄物の分別は明確な掲示物で徹底しています。コピー数量の削減、再利用などの取り組みも事務部門を中心に維持しており、社内文書は、ビジネスツール（LINE ワークス）を利用するなどペーパーレス化が定着しています。
		分別方法を判りやすく掲示	◎	
		廃棄物置場の整理	◎	
	紙類	コピー数量の削減（裏紙使用、集約コピーの推進）	◎	
		OA 紙の資源化（機密書類を除く）	◎	
		ペーパーレス化の推進（LINE ワークスの利用）	◎	
総排水量の削減	水使用量の削減	洗車時・手洗い時の節水	◎	感染拡大防止のための手洗い頻度は高まっていますが、水道使用時はこまめに水を止めるなどムダに使わないよう全員が意識して取り組めています。雨水利用は、２サイトが実践しています。
		水の強さを調整（給水栓を絞る）	○	
		こまめに水を止める	◎	
		雨水の再利用(車両洗車時に使用)	○	
		本部：トイレ使用時の節水（音消しは流水音発生機使用）	◎	
グリーン購入		グリーン購入対象商品のリストアップ	◎	グリーン購入対象商品をリスト化し、対象アイテムの選択がしやすい工夫を継続しています。
		エコマーク商品の優先的購入	◎	
本業の環境配慮	再資源化率向上	再資源化分別の作業工程の強化	◎	再資源化率の向上は、機械化と合わせて、選別技術と意志の統一を図ることも必要です。選別員向けのミーティングを実施するなど、技術の情報共有を図っています。
		ダスト排出量（埋立、焼却）の減量	◎	
		資源原材料発生の増量	◎	
	資源の有効利用	リサイクル品の活用	◎	
自主設定目標	SDGs の取り組み	SDGs の情報共有に努める(社内報掲載など)	◎	SDGs への取り組みは「今、私たちにできること」を合言葉に、一人一人が目標を掲げており、情報共有を図ることで意識を高めています。今年度は新たに「スポGOMI」へ参加したことで、新しい気づきが生まれました。今後は地域との交流を図りながらボランティア活動を水平展開して行くことも検討していきます。
	3R・5S の推進	一般廃棄物排出を抑制する行動	◎	
		施設内の整理整頓	◎	
	ムリムダの削減	作業効率を考えた行動	◎	
	地域貢献活動	地域イベント(清掃活動)へ積極的に参加する	○	
		本部：いわき市廃棄物減量推進審議会　委員活動の継続	◎	
		全社員が家庭で節電・節水・ゴミ分別を実施する	◎	
		食品ロス問題への取組み　フードバンクへの協力	○	

評価基準　３サイト総合　◎：全員で取り組んでいる　○：一部取り組んでいる　△：見直しが必要　×：取り組んでいない

10. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

当組合に関連する主な法規制

法規制名		違反・訴訟の有無
労働安全衛生関連	労働衛生法	無
	労働安全衛生規則	無
運搬車両関連	道路交通法	無
	道路運送車両法	無
物品調達関連	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 (グリーン購入法)	無
廃棄物関連	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	無
リサイクル関連	資源の有効な利用の促進に関する法律 (廃棄物処理法)	無
	容器包装に係る分別収集及び商品化の促進等に関する法律 (容器包装リサイクル法)	無
	使用済自動車の再資源化に関する法律 (自動車リサイクル法)	無
	特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	無
消防関係	消防法	無
	危険物の規制に関する規則	無
選別施設関連	騒音規制法	無
	振動規制法	無
	悪臭防止法	無
地球環境保全 省エネ関係	地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)	無
	エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)	無
廃棄物処理業における 新型コロナウイルス感染症関係	廃棄物処理業における新型コロナウイルス対策ガイドライン	無

11．代表者の全体評価及び見直し

11－1．環境経営システムの有効性の評価

地球環境問題に対応し、持続可能な発展をしていくためには、経済社会活動のあらゆる局面で環境への負荷を減らしていかなければなりません。そのためには組織として、自主的かつ積極的に環境保全の取組を進めていくことが求められています。2020 年 10 月、政府は 2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。カーボンニュートラルの達成のためには、温室効果ガスの排出量の削減 並びに 吸収作用の保全及び強化をする必要があります。意識的に取り組むことにより、地球環境に貢献することに加えて、取引先からの信頼性向上・新たな需要の獲得・資金調達手法の拡大など様々な効果が期待されると言われており、日本の全企業数のうち 99.7%を占める中小企業が取り組むことで大きな効果が期待できます。すでに、当組合はこのエコアクション 21 に取り組んでおり、この活動でまず、二酸化炭素の排出量を数値化し、排出量の削減に向けた取り組みを継続していくシステムは有効に機能しています。

11－2．環境経営システム変更の必要性

クリンピーの家資源選別施設は設備改善後２年目の稼働となり、設備性能に沿った処理計画が遂行できるようになりました。また、山田粗大ごみ処理施設においては、スプレー缶処理機の導入など作業環境が大きく変動した１年でした。

社内全体としては、新型コロナウイルス感染拡大も長期化するなかで感染防止を徹底しながら、エコアクション 21 活動を展開し、社員１人１人が高い意識を持って活動へ参加している様子から、社内の意志統一が図られています。

クリンピーの家資源選別施設の設備改善後は、稼働時間が短縮されることによる二酸化炭素の排出量削減の影響が想定されます。また、山田粗大ごみ処理施設は作業環境が改善されたことによる二酸化炭素の排出量の変動が想定されるため、本来の活動の効果が分かりにくい状況です。よって、2023 年度の環境経営目標設定は、直近 2022 年度実績を基準とします。

11－3．次年度以降の取組の方向性

全体的に、社員１人１人が SDGs17 の目標から「今、私たちにできること」を考えて行動し、意識的にこの活動に取り組む姿勢が継続されています。

社内全体が積極的にエコアクション 21 活動に関連する情報として SDGs の知識を高めることに努めており、最新の情報を共有できるシステムが定着しています。また、今年度は「スポ GOMI」などの地域イベントへ積極的にボランティア参加する社員の姿も見受けられ、意識の高い社員が今後もエコアクション 21 活動のリーダーシップをとっていってもらえることを期待します。

このように、新型コロナウイルス感染の長期化する中でも、健康管理に注意しながら、エコアクション 21 推進委員を中心に環境への取り組みは積極的に実施されており、こうした協力体制の現状は当組織の最大の「強み」とも言えます。今後は、この「強み」を活かし、地域社会に貢献できる組織として、これまで培った経験や知識を行動に反映させる新たな体制造りを目指して行きます。

12. 2023年度　環境経営目標　(2023年4月～2024年3月) 3サイト合計

環境目標項目		※1 基準年度変更 2022年度統一	削減率等	2023年度 目　標	変更事項	目標達成のための 主な取り組み
二酸化炭素排出原単位 (搬出量1トン) ※2 新規項目		28.95 kg-CO2	1.0%	28.66 kg-CO2	新規	電力の消費量と受託する選別業務の処理量の関係性を分析し、処理量に左右されない評価(原単位)で活動を把握します。
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)		275,767.64	1.0%	273,009.96		作業効率化を追求し、使用電力削減を目指します。また、空調の温度設定など従業員一人一人が節電の意識を持って行動します。
	電力	220,983.65	1.0%	218,773.81		
	ガソリン	2,033.39	1.0%	2,013.06		エコドライブ推進を継続するうえで、より具体的な取り組みとするエコドライブ 10 項目の行動を実践します。
	軽油	52,688.86	1.0%	52,161.97		
	LPG	61.74	1.0%	61.12		湯沸器は必要な時のみ使用します。
廃棄物排出量(t)	事業系 一般廃棄物	1,280.48	1.0%	1,267.68		マイボトル、マイ箸、マイバッグ利用を継続します。
	中間処理後の 廃棄物	485,000.00	1.0%	480,150.00		部署ごとに勉強会(月1回)を実施し、選別技術の平均化を図ります。
	産業廃棄物 ※3　新規項目	2,849.00	1.0%	2,820.51	新規	整理整頓に努め、備品類は大切に使うよう呼びかけます。
総排水量 (m^3)		1,662.00	1.0%	1,645.38		各サイトとも節水装置を設置します。
グリーン購入率(%) ※4　設定単位変更 (個数⇒%)		48.00	サイト毎 1%向上	48.50	変更	グリーン購入は、購入率にて取り組みます。
事業活動における環境配慮 再資源化率	山田粗大 ごみ処理施設	74.10	0.1% 向 上	74.17		作業環境や作業工程が安定したことにより、安全を重視したうえで、作業工程の定期的な点検や改善を実施し、選別技術の平均化を図ります。
	クリンピーの家 資源選別施設	96.20	0.1% 向 上	96.30		
自主的取り組み		地域社会との関わりの中から、新たな気づきや、社内活動の活性化へのヒントを探っていきます。具体的には、市内の環境保全に関するボランティアによるイベントへ参加します。(海洋プラスチック流出の抑制に関するイベントなどを予定します。)				

※1 基準年度を2022年度実績としました。　※2・3 新たな項目を追加しました。
※4 グリーン購入は購入数ではなく購入率を目標設定値とします。